

## 平成 24 年度松帆小学校学校業務改善の取組状況について

### 1 前年度の取組より

- ・ノー残業デー（週 1 回）、会議の効率化（業間打ち合わせ週 3 回）、学校行事の見直し（休日行事の見直し・整理）、指導要録や通知簿の電子化、電子ファイルの共有（校務文書の共有化・整理等）を推進してきているが、まだまだ不十分な要素がみられる。
- ・長時間の残業が常態化しているなど、勤務時間の適正化に向けたさらなる改善が必要である。
- ・学校全体で学校業務改善に対する目的を再認識・共通理解し、教職員一人一人の意識改革を進めていかなければならない。

### 2 今年度の取組

#### (1) 学校業務改善推進委員会（衛生委員会）の設置

構成：校長・教頭・主幹教諭・教諭・養護教諭・事務職員

内容：学校業務改善の実態把握、具体的な計画立案

定期的を開催し、改善策を提案

#### (2) 4 月の職員会議での主旨徹底と共通理解

#### (3) 具体的な取組

##### ① 会議の効率的な運営

- ・資料の事前配布
- ・資料サイズの規格統一（A4 に）
- ・提案内容は簡潔明瞭に
- ・勤務時間内に終了

##### ② 「ノー残業デー」「ノー会議デー」の実施

- ・週 1 回、木曜日に設定

##### ③ 校務・業務の IT 化

- ・全教職員がメールの個人アドレスを取得
- ・市教委からの各種文書や出張案内を電子メールで送信

##### ④ 外部人材の活用

- ・市教委の学校支援ボランティアの活用

### 3 成果と課題

- ・会議に要する時間の短縮が図れた。特に職員会議の時間は大幅に短縮できている。
- ・教科、総合的な学習の時間、学校行事等に学校支援ボランティアを積極的に活用し、子どもと向き合う時間の確保ができた。
- ・週 1 回の「ノー残業デー」「ノー会議デー」とも概ね定着してきているが、それ以外の日は、依然として長時間の時間外業務が見られる。
- ・衛生委員会を中心に定期的に点検を行い、全教職員に対して啓発を続ける。
- ・教職員一人一人が「限られた勤務時間の中で最大限の成果を上げる」という強い意欲をもつことが必要である。